

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	こども療育センターきらキッズ I		
○保護者評価実施期間	2026年 2月 9日		2026年 3月 9日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	69	(回答者数) 49
○従業者評価実施期間	2026年 2月 16日		2026年 3月 9日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	8	(回答者数) 8
○事業者向け自己評価表作成日	2026年 3月 18日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	<ul style="list-style-type: none"> ・同学年のグループや近い学年のグループで療育が組まれている事 ・学校休業中は、他学年とも交流できるようにグループを組んでいる事 	<ul style="list-style-type: none"> ・それぞれの年齢や発達課題に合った活動を用意し、同年代の仲間と楽しめるようにしている ・学校休業中は、公共交通機関を利用して県内の動物園や科学館等に出かけ、普段の療育とは違う経験ができるようにしている ・他学年との交流できるグループでは、協力し合う姿も見られている 	<ul style="list-style-type: none"> ・子どもたちの希望をしっかりと聞いていき、主体的に活動を進めていけるようにしていく ・地域資源について職員間で研修を深め、子どもたちが知りたいこと、体験したいことがかなえられるようにしていく
2	<ul style="list-style-type: none"> ・毎回の送迎時に、保護者からの相談が受けられる 	<ul style="list-style-type: none"> ・家庭や学校で困っていること、悩みなどをすぐに聞き取り、一緒に解決策を考えていく 	<ul style="list-style-type: none"> ・学校や児童相談所などとも連携を取っていけるようにしていく
3			

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	<ul style="list-style-type: none"> ・保護者同士・きょうだい児同士の交流の場の提供 	<ul style="list-style-type: none"> ・家族そろっての参観等の機会はあるが、交流の場となるような時間と場所の設定ができていない 	<ul style="list-style-type: none"> ・法人全体の行事への参加を呼びかけ、その中で保護者やきょうだい児が交流を持てる時間や内容を考えていく
2	<ul style="list-style-type: none"> ・利用者への情報提供不足 ・防災訓練等の実施や、各種マニュアル等の周知がすべての利用者に届いていない 	<ul style="list-style-type: none"> ・掲示板での報告だけでは見ていない保護者も多い(送迎時に掲示を見てもらうように声をかけているが、全員には届いていない) 	<ul style="list-style-type: none"> ・ホームページや連絡アプリを活用して、確実に情報提供をしていく ・参観日など、保護者も一緒に訓練を行う機会を設ける
3			

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名 こども療育センターきらキッズI

公表日 2026年3月27日

利用児童数 69名 (2026年3月9日現在)

回収数 49

		チェック項目	評価				ご意見	ご意見を踏まえた対応
			はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない		
環境・体制整備	1	こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	46	3	0	0		
	2	職員の配置数は適切であると思いますか。	48	1	0	0		
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	46	3	0	0		
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	46	3	0	0		
適切な支援の提供	5	こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	46	3	0	0	・担当の先生やほとんどの先生は声かけからいつも感心している。 ・先生が単発で入っていることがあり、その子の特性を理解してまでの支援までではできていないと思う	・お子さんの発達課題にあった課題を設定し、個々の習得段階に合わせた支援を目指します。 ・どの職員が対応しても、そのお子さんの特性についてしっかり把握して支援していくように努めます。
	6	事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	45	3	0	1		
	7	こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	48	1	0	0		
	8	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	43	3	0	3	・毎年担当先生によってやり方違って困惑する。統一してほしい	・個別の支援内容については、事業所内の支援会議で十分に話し合っています。次年度に向けて継続した支援をしていけるように、話し合い、保護者の方に説明して理解していただけるようにします。
	9	放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われていると思いますか。	44	3	0	2		
	10	事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	45	3	0	1		
	11	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会がありますか。	18	10	10	11		
	保護者への説明等	12	事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	47	2	0	0	・Wiscの説明不足。料金の件も話が無くて事後に請求されても困る。対応統一してほしい
13		「放課後等デイサービス計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	48	1	0	0	・説明するのが遅い。他の子とタイムラグがあるように思う	・説明する順序に差が出ないように、サービスの始めに行うように努めます。
14		事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	42	4	1	2	・もっと増やしてほしい！	・事業所単位ではなく、法人全体で家族が参加できる研修会を開催しています。多くの保護者の方に参加していただけるように周知を徹底していきます。
15		日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達の状況について共通理解ができていると思いますか。	49	0	0	0		
16		定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	47	2	0	0	・面談時期が遅い。計画書説明してくるのも遅い。日程調整せず突発で当日する時もある	・毎回、保護者の方が送迎していただいているので、その都度その日の様子や療育内容についてお伝えしています。面談の時期については、今後遅れないように気をつけていきます。
17		事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	47	1	0	1		
18		父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	30	10	2	6	・一部きょうだい児への声かけに違和感を感じる方はいる（じゃまかなと感じる） ・本年度、保護者のみの会はあったけれど、兄弟同士はよくわからない。お餅つきのこととかも含まれるのか	・兄弟児への声かけについては、今後不快な思いをされないように十分に気をつけていきます。 ・参観日の際に、保護者の皆さんの交流の時間を設けるようにしていきます。 ・法人全体で家族そろって参加できるイベントを開催しています。
19	こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	43	3	0	3			

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
	20	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	48	1	0	0	・他の方説明中待機する時間が長すぎる。30分位待たされることもある。始めにサインするのが多くバタバタするかからフィードバック中に書きたい	・フィードバックの順序について、差が出ないように配慮していきます。
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	37	5	1	6		
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	47	1	0	1		
非常 時 等 の 対 応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	41	2	0	6		
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	42	0	0	7		
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	43	1	0	4		
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	42	1	0	6	・事故発生していないため不明	・ケガなど事故が発生した場合は速やかに対応します。
満 足 度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	48	1	0	0		
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	40	5	4	0		
	29	事業所の支援に満足していますか。	47	2	0	0	・担当する先生によって対応が違うから困る	・担当職員によって差が出ないように、事業所内での研修を進めています。 ・子どもたちと家族の方に安心して楽しんで来所していただけるように、職員一同努めています。

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		こども療育センターきらキッズ1		公表日		2026年3月27日	
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	5	3	・高学年には部屋が狭いと思われるので、活動によってはより広い部屋へ移動して、利用者がのびのびと利用できるようにしている	・移動の際には十分に安全に留意していく ・活動に参加できない利用者が、落ち着いて過ごせる場を用意しているが、より過ごしやすくできるように考えていきたい	
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	4	4	・適切な職員配置に努めている	・スタッフ全体で利用者の状態を把握し、個別に対応する子、小集団で対応できる子にそれぞれ適切なスタッフを配置を工夫していく	
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	7	1			
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	7	1	・この空間でできる活動を選択している	・清潔で心地よい空間になるように努めていく	
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	6	2	・個別対応できる部屋を用意している	・より落ち着いて過ごしやすい場所になるように整えていきたい	
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	6	1	・担当スタッフ全員で支援会議を行っている		
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	5	2			
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	5	1	・カンファレンス、リーダー会を設けている	・日々の療育についての話し合いだけでなく、広く職員の業務全体に対する意見を聞いていくようにする	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	4	1		・第三者評価は行ってない	
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	8	0	・各種研修については、職員全員に案内している		
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	6	1			
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	8	0	・やり方が整備されつつある		
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	8	0	・担当職員で支援会議を行っている	・担当職員が参加できる日程を調整し、早めに支援会議のスケジュールを立てていく	
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	6	2		・職員間で今後もよく話し合い、全員が計画に沿った支援ができるようにしていく	
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	5	2		・フォーマルなアセスメントのこどもの見方	
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	5	2			
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	6	0	・担当職員みんなで意見を出し合あって立案している		
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	8	0			
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	6	1			
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	8	0			

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	8	0		
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	7	1		・記録を元に、更に改善していけるように話し合いを進めていきたい
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	6	1		
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ合わせて支援を行っているか。	4	1	・学校休業日中に地域の高校生ボランティアを受け入れ交流している	・地域での防災イベントや体験活動にも参加していけるように呼び掛けていく
	25	子どもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	7	0		
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、その子どもの状況をよく理解した者が参画しているか。	5	1		
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	4	1	・親御さんを通しての働きかけはしている	
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	4	2	・保護者から相談があった時や、お子さんの様子で心配な時は、でんわで担任や主任に連絡を取って情報を共有している	・みどりファイルを活用して、事業所での様子を学校にも伝えていく
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定子ども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	5	1	・みどりファイルを活用している	
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	4	1		
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	3	3		・法人内研修で事例検討会を開催していく
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他の子どもと活動する機会があるか。	3	3		
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	4	2	・担当職員が参加している	
	34	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	6	0		
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	5	1	・「子育て応援セミナー」を実施している	
	保護者への説明等	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	4	1	
37		放課後等デイサービス提供を作成する際には、子どもや保護者の意思の尊重、子どもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、子どもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	6	0		
38		「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	6	0		
39		家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	7	0	・前期、後期に一度ずつ個別の懇談会を実施している	・送迎時に相談があった時には、改めて時間を設けて面談を行っていきたい
40		父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	4	2	・参観日や法人イベントで、家族が交流できる場を設けている ・「中学校からの進路を考える座談会」を開催して、先輩保護者の方のお話を聞く機会を設けている	・保護者同士の交流の場を設けて、お互いの悩みや今後の進路について話し合う場を設けていく
41		子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	6	0		
42		定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	6	0	・必要に応じて行うようにしている	
43		個人情報の取扱いに十分留意しているか。	8	0		

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
	44	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	7	0		
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	3	4		・地域住民を招待する行事は行っていない法人全体で検討していきたい
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	6	0		
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	6	0	・定期的に訓練を行っている	
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	6	0	・保護者からの情報を職員間で共有している	
	49	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	6	0	・食物アレルギーのあるお子さんについては、年度初めに保護者から詳しく聞き取り、医師の指示書に基づいて対応している	・調理をする機会も多いので、毎回職員同士で確認して事故防止に努めていく
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	6	0		
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	6	0	・常に掲示している	
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	6	0	・法人全体の職員会議で、毎回各事業所からの報告を共有し、検討している	
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	6	0		
	54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	5	1	・毎年身体拘束に関する研修を行っている	